

## 平成30年度 第3回古賀市国民健康保険運営協議会議事録

- 【会議の名称】 平成30年度第3回古賀市国民健康保険運営協議会
- 【日時・場所】 平成31年1月25日（金） 19:00～20:15  
古賀市役所 中会議室
- 【主な議題】 ①国保事業費納付金の報告について
- 【傍聴者数】 0人
- 【出席委員】 渡信人会長、三輪朋之会長代理、塩津美都子委員、野田廣子委員、  
淀川治委員、芝尾郁恵委員、堤啓委員、矢野洋子委員  
(欠席委員：鐘ヶ江勝委員)
- 【事務局】 市長、市民部長（清水）、  
市民国保課長（坂井）、国保係長（長野）、国保係（阿部・江野）、  
予防健診課長（長崎）、主幹（村上）  
(庶務担当部署：市民国保課)
- 【配布資料】
- ①会議資料（国保事業費納付金の報告について等）
  - ②参考資料
  - ③特定健診受診率・特定保健指導実施率経年一覧

## 【会議の内容】

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 議事

### (1) 国保事業費納付金の報告について

(資料説明：市民国保課長・国保係長)

- 淀川委員 資料7ページに平成29年度決算と平成31年度収支見込みがあるが、平成30年度の見込みはまだ出ていないのか。
- 市民国保課長 予算の段階では収支バランスがとれており、黒字になると見込むが詳細は現状では何とも言えない状況である。
- 芝尾委員 保険者努力支援制度の交付金が県内1位との説明があったが、資料では特定健診の受診率は下がっている。どのように反映しているのか。
- 国保係長 平成30年度分は、平成27年度の特定健診受診率が反映している。また、努力支援制度は、特定健診の受診率以外にも収納率、重症化予防の取組、その他保健事業の取組等の多岐にわたる取組が関係している。
- 芝尾委員 保険医療2035推進本部の現状はどうか。特定健診の受診率向上のための協議を行っているのか。
- 予防健診課長 今年度は未実施ではあるが、特定健診受診率の向上のために関係各課と協力していくためにも、実施する予定である。
- 芝尾委員 新市長になり、コミュニティ推進課も加わり、市全体で健康増進、特定健診受診率向上、収納率向上に努めてほしい。
- 芝尾委員 特定健診の受診率が下がっているが、要因は。
- 予防健診課長 途中経過であり前年度並みと見込む。
- 渡会長 国保財政の今後の見通しは。
- 国保係長 平成32年度以降も県の算定結果を見て検討していくことになるが、黒字額を確保できていれば、今後税率改定が必要になった場合に、市独自の緩和措置財源として活用することもできるようになる。
- 市民国保課長 示される納付金額にもよるが、古賀市の財政として余力をもっていないと、将来的には厳しくなると考えられる。現状はある程度の黒字は見込めている。

## (2) その他

- ・国の動向（制度改正予定）について

（資料説明：国保係長）

- ・特定健診受診率・特定保健指導実施率経年一覧

（資料説明：予防健診課長・主幹）

- 野田委員 特定健診の県内1位はどこで何パーセントか。
- 予防健診課長 久山町では80%弱のときもあるが、例年60%から70%弱となっている。組長さんが回って日程調整しており、意識づけが違うのではないか。
- 塩津委員 長寿や医療費がかかっている傾向があるのか。
- 予防健診課長 全国的に病床数が多いところは医療費が高い傾向がある。病気になれば病院に行けばいいという思いもあるのかもしれない。行動変容、意識変化を図ることが重要である。
- 塩津委員 久山町の健康状態の効果はどうか。
- 予防健診課長 把握していない。
- 主幹 久山町は転出入が少なく、九大の研究が行われている。健康意識は根付いているが、脳梗塞や心筋梗塞がそこまで低いというデータはない。

- ・市民公開講座案内

（資料説明：予防健診課長・主幹）

- ・議事録署名委員の指名

- 渡会長 議事録の署名は、野田委員にお願いする。

## 5. 閉会